

No. 877

どさんこ競馬

—北海道—

北海道の南部にある日高地方、その中心浦河の町でただ一つという変わった競馬が開かれました。この日登場する馬たちは競馬場など走ったことのない野武士たち、なかでも異彩を放つのは道産子と呼ばれる在来馬です。騎手は牧場の若者たち、愈々レースが始まりました。たとえ賞金はなくとも、馬券の発売所がなかろうとも、騎手と観衆は愛する馬の力走する姿を楽しみに集って来るのです。興味は馬券だけで馬などどうでもよい、どこかの人々には耳の痛い話。この競馬はほんとうに馬が好きで好きでたまらない人達の楽しい一日なのです。

秋のキャンパス

—大学祭—

秋のやわらかい日ざしに照らされた大学のキャンパス。11月を迎え各大学では、今学園祭がたけなわです。㊦安保㊦で揺れた昨年、一昨年は学園祭などとても開催できない大学が大半をしめましたが、ポスト安保のことしはいたってのんびりムード。室内には公害。沖縄も展示されてはいますが、その数は少なく、むしろ現代の学生らしく、ゴーゴー喫茶、ハブニング喫茶が大流行です。現代の学生気質を学園祭に拾ってみました。

はたちの戦力

—東京・神奈川—

㊦20歳㊦を迎えた自衛隊の観閲式が1日、東京千駄ヶ谷の国立競技場前で行われた。3万5千人の観客が見守るなかを隊員が堂々と行進。1台1億8千万円という高価な水陸両用の戦車が初登場したのをはじめ、ロケット弾、ホーク、ナイキ・アジャックスなど、350両が威風堂々とその戦力を鼓舞した。また、3日の文化の日には、神奈川県相模湾沖合で護衛艦など45隻、航空機48機がハデなデモンストレーションを展開した。潜水艦の浮上したり、潜水したりする様に喜ぶ子供達。海上自衛隊のPV2迎撃機が急降下してロケット弾をうち込む様に見入る大人達。この日、中曽根防衛庁長官の㊦青春に帰ったようだ㊦と喜びの声が聞かれた。四次防の前途は、天気晴朗、波高し。